

【全国初】「〇〇押し課（おしか）」が始動しました！！ ～ “押し” の熱量を都市の活力へ～

北九州市は、全国の自治体に先駆け、人々の情熱を都市経営のエンジンへと転換する新組織「〇〇押し課（おしか）」を設立しました。

アニメ、スポーツ、食、歴史。誰かを、何かを全力で応援したいという純粋なエネルギー。私たちは、この「押し熱量を都市の活力に変える」ことをミッションとし、市民やファン、そして企業と共に、これまでにない新しいまちづくりのカタチを創造します。

私たちが「押し」に注目する理由

「押し活は、主体的な選択に基づく利他的な営みである」

今や日本人の4人に1人が押し活を行い、その経済規模は4兆円を超えと言われています。しかし、私たちが着目したのはその数字以上に、押し活が持つ「誰かの成功を願い、応援する」という温かなエネルギーの質です。

自分の「好き」を大切にすることで自分らしさを発見し、その心の充足を糧にして、誰かの幸せや成功を純粋に願う。このポジティブな連鎖を、個人の楽しみだけで終わらせるのではなく、街のにぎわいや地元の商売、そして新しい産業へと繋げていく「仕組み」を作る。「押し熱量を都市の活力に変える」挑戦が、ここ北九州市から始まります。

「押し」の熱量を都市の活力に変えるプロジェクト



押し活・・・主体的な選択に基づく利他的な活動

「〇〇推し課」が描く、ワクワクする景色

□街全体が温かな「応援」に満ちる風景

イベントの日に駅へ降り立った瞬間、街中が推しカラーに染まり、地元の飲食店では店主とファンが「推しの物語」を笑顔で語り合う。単なる観光消費の場ではなく、自分の「好き」を誇れる、リスペクトに満ちた滞在体験を提供していきたいと考えています。

□「ものづくりの街」から「物語を創る街（クリエイティブの聖地）」へ

路地裏や関門海峡を望むスタジオから、世界を揺らす新作コンテンツが次々と生まれる。かつて「鉄」で日本を支えた北九州市が、今度は「物語」で世界を感動させる。全国からクリエイターが集い、新しい雇用が生まれる未来を創り出します。

実現したい未来像

世界で一番、情熱に優しいまち

(イメージ)

- ・街全体が温かな「応援」の空気に満ち、誰もが自分の「好き」を誇れる場所。
- ・色とりどりの推しカラーを身にまとったファンが、地元の飲食店で店主と推しの物語を笑顔で語り合う。そこには、単なる観光消費を超えた、深い「交流」と「滞在」の風景がある。



「クリエイティブの聖地」

(イメージ)

- ・全国からクリエイターが集まり、路地裏や関門海峡を望むスタジオから世界を揺らす新作が生まれている。
- ・コンテンツ産業が新しい雇用を生み、子どもたちが「この街は最高に面白い」と胸を張って言える場所。
- ・かつてものづくりの街として栄えた北九州が、今度は「物語をつくる街」として世界から注目される。



ロードマップ案

STEP ① (~1年)

交流・滞在の仕掛けづくり

- ◎ 市民の「声」に基づく北九州市の魅力やリソースの活用

(例)

- ・市民共創に向けたサーベイ
- ・北九州市「推し」デジタルマップ
- ・アフターファンミーティングの促進 など

STEP ② (~3年)

官民連携の拡大

- ◎ 企業による商品開発や、ハード・ソフト投資の促進

(例)

- ・地元企業による「推し」商品開発プロジェクト
- ・空き家や歴史的建造物の「推し拠点」化 など

STEP ③ (~5年)

“推し経済”の創出

- ◎ コンテンツ産業の誘致
- ◎ クリエイターの育成・集積

(例)

- ・クリエイター・イン・レジデンス
- ・「推し経済」カンファレンス など